

PLATEAU VIEW 3.0 をつかってみよう💡

1 利用環境

【OS】 Windows、macOS、Linux、Chrome OS、iOS、Android

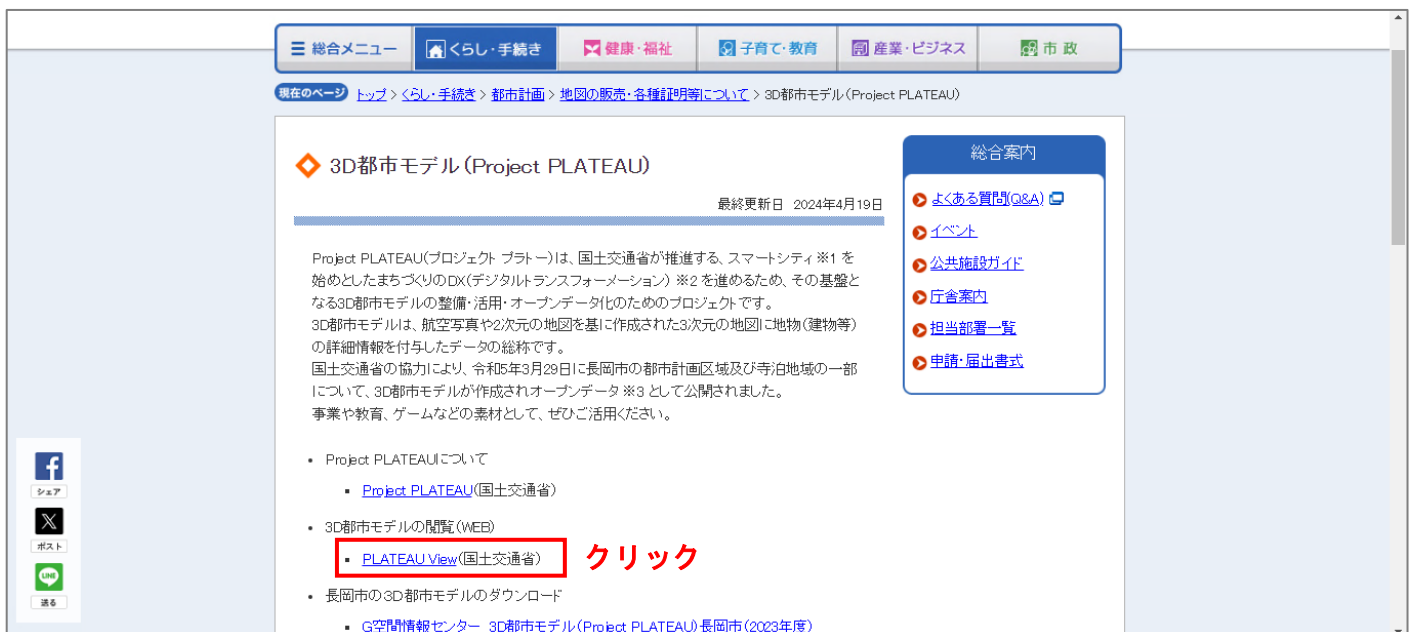
【ブラウザ】 Chrome 58+、Firefox 57+、Safari 11+ (macOSのみ)、Microsoft Edge、iOS(11+) Safari、Android(10+) Chrome

【スペック】 必要環境 CPU : Intel core i5、RAM : 16GB

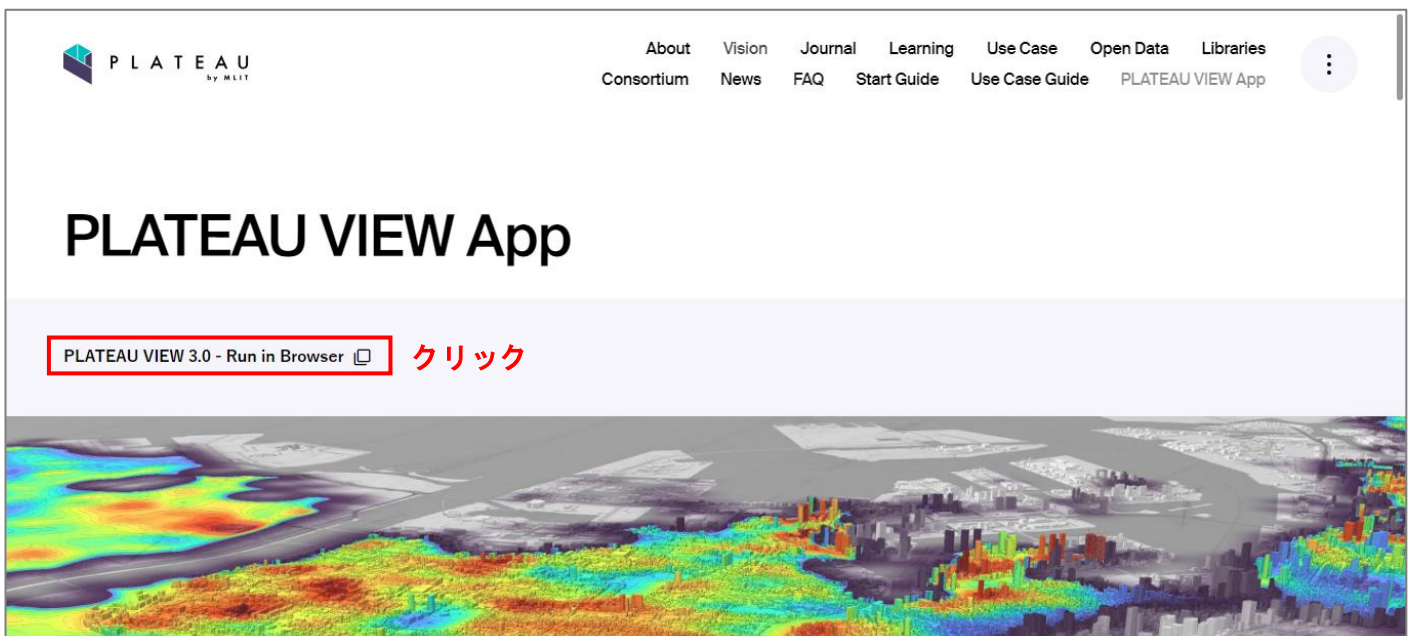
推奨環境 CPU : Intel core i7、RAM : 32GB

2 操作手順

(1) 「[PLATEAU VIEW](#) (国土交通省)」をクリック



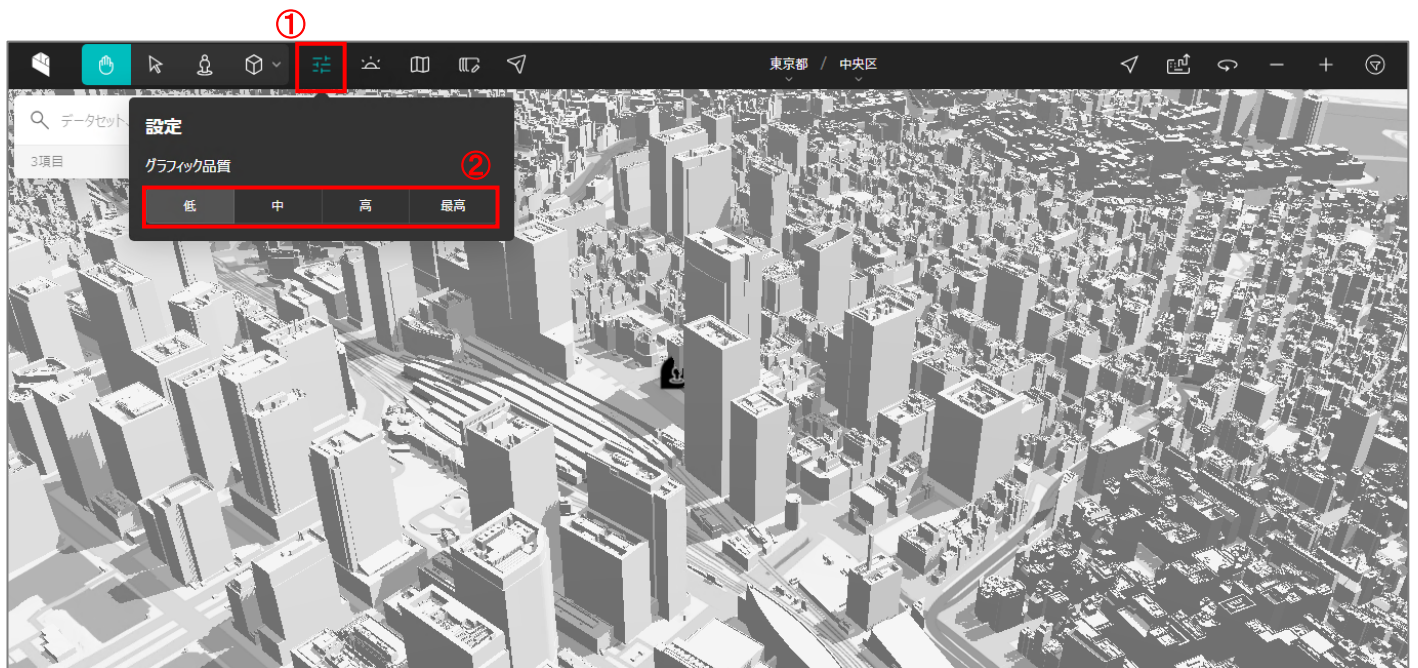
(2) PLATEAU VIEW3.0 - Run in Browser をクリック



(3) グラフィック品質を変更

設定からグラフィックの品質を変更します。

動作環境が重い場合、「低」に設定すると動作がスムーズになります。



(4) 見たい3D都市モデルを検索

初期表示は「東京都」が表示されます。

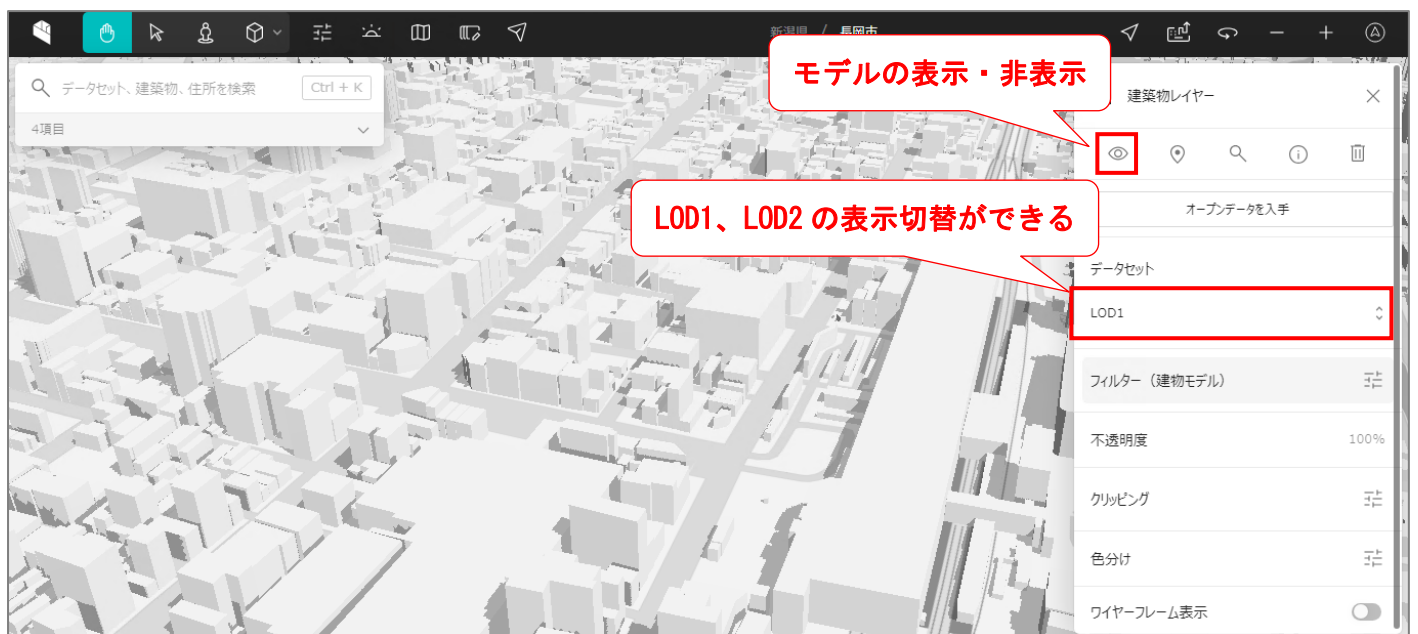
【検索例】

- ① 「都道府県」⇒「新潟県」⇒「長岡市」の順でクリック
- ② 「建築物モデル」をクリック
- ③ 「移動」をクリック



(5) 見たい3D都市モデルを表示

(4)で検索した3D都市モデルの「建築物モデル」が表示されます。



LOD1：直方体の組み合わせで構成されたモデル

LOD2：屋根や壁などを再現したモデルで、航空写真を用いたテクスチャ画像を貼付

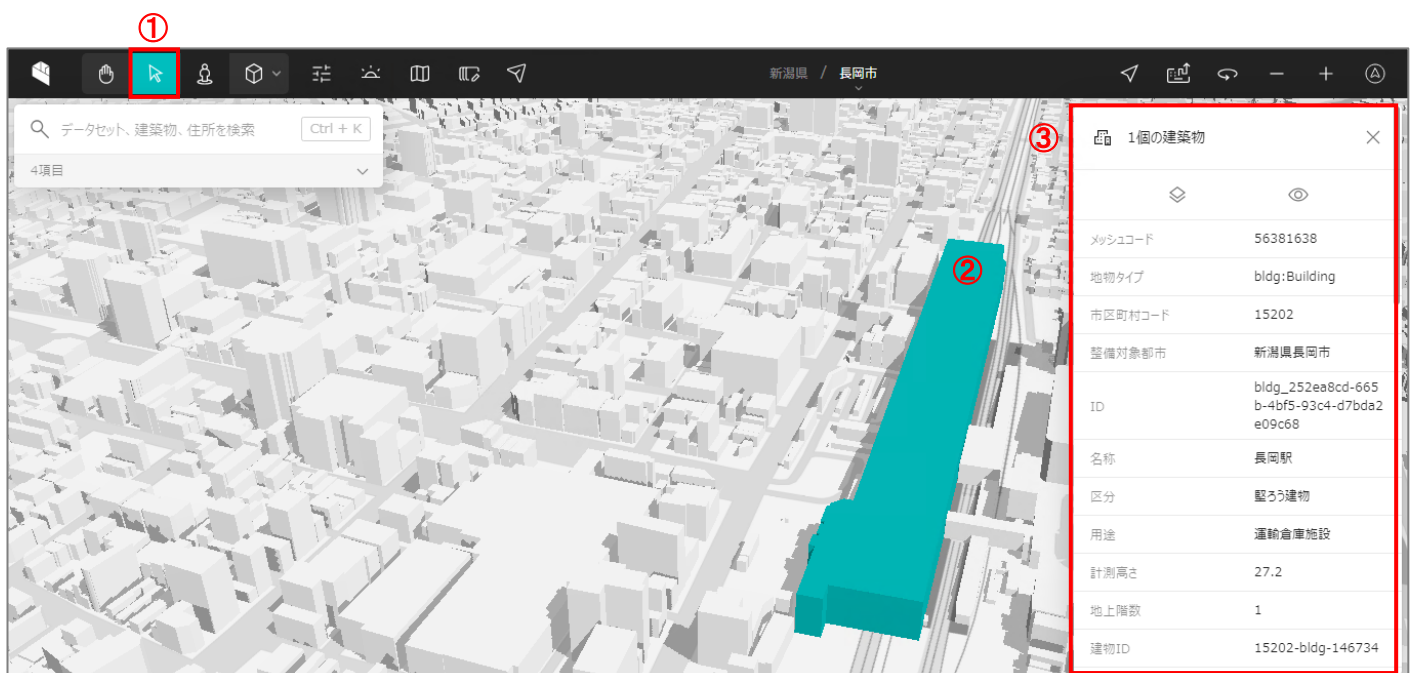
(6) 建築物の属性を見る

各建築物の属性を見ることができます。

- ① 「選択」をクリック
- ② 見たい「建築物モデル」をクリック
- ③ 建築物の属性が表示

※ 属性で表示される名称については、建築物の施設名称ではありません。

※ 建築物以外の属性も同様の操作で見ることができます。

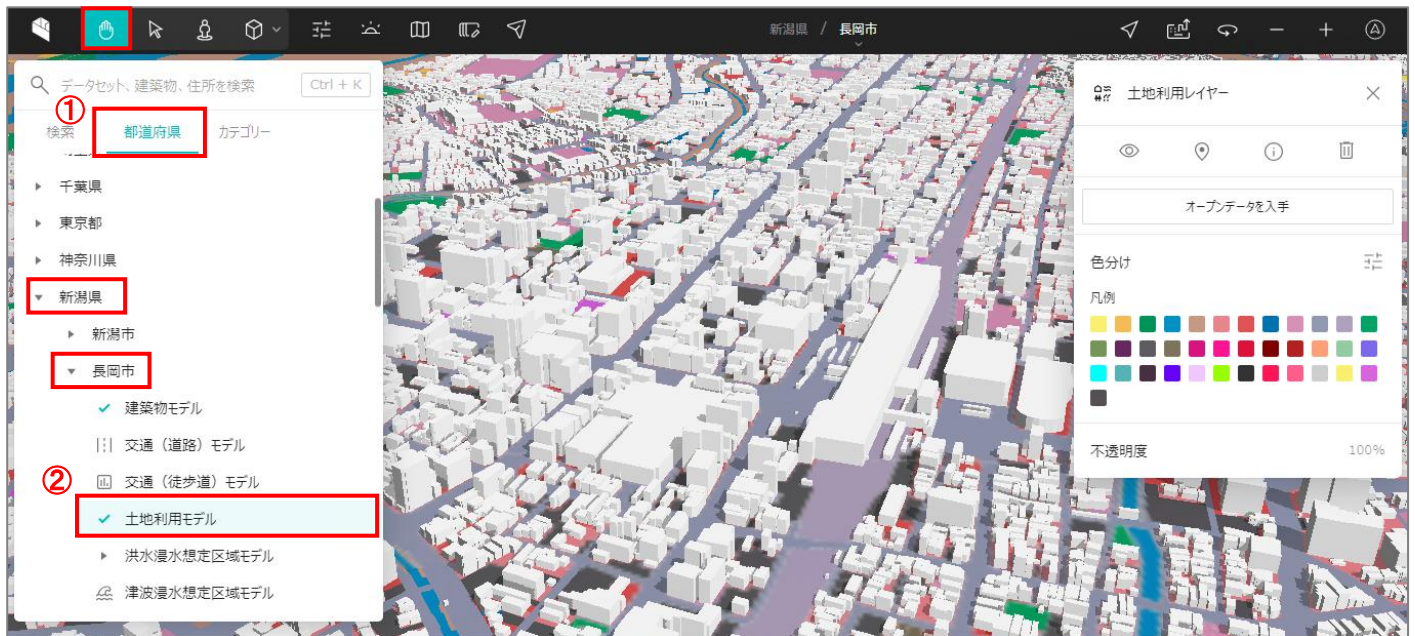


(7) 3D都市モデルを重ねて表示する

様々なモデルを重ねて表示ができます。

【例】「建築物モデル」に「土地利用モデル」を重ねる

- ① (4)①の手順で、「都道府県」⇒「新潟県」⇒「長岡市」の順でクリック
- ② 「土地利用モデル」をクリック



(8) 3D都市モデルの表示を取り消す

モデル選択を解除し、表示を取り消します。





(9) 地図の種類を変更する

初期表示は「白地図」が表示されますが、「衛星写真」等に変更できます。



(10) 地図の操作

「Ctrl キー」を押しながらマウスをドラッグすると視点の角度を変えられます。

このほかにも様々な機能がありますので
PLATEAU VIEW3.0 を使って 3D 都市モデルを体験してみてください！

詳しい操作方法はこちら↓

[TOPIC 2 | PLATEAU VIEW で体験する \[1/2\] | 3D 都市モデルをブラウザで利用](#) (国交省サイト)

[TOPIC 2 | PLATEAU VIEW で体験する \[2/2\] | 他の地理空間情報を重ねて確認](#) (国交省サイト)